

野生動物と人間



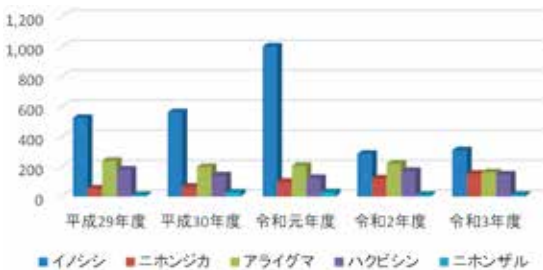
野生動物も人間と同じ

「ここは住みやすいな、生活しやすいな。」
人間は、どこでどのように生活していくか、自身のライフスタイルに合わせて住みやすいところに住みます。「ここはエサが豊富だ、身を隠すにはもってこいだ。」
野生動物は、生きていくためにエサがたくさんある場所や天敵、人間に攻撃されない隠れられる場所を好みます。
人間も野生動物も生活しやすい場所を選んで生活しています。

変化すること

野生動物は、生きていくために人間の生活スタイルに合わせて、学習し変化をしてきました。以前は出没しなかった場所に出没したり、畑を荒らされるなど、さまざまな被害が出ています。
人間も変わることが必要です。野生動物が棲みつきやすい環境を提供していませんか。隠れやすい場所を作ってしまったいませんか。野生動物は学習します。動物たちが棲みつきにくい場所にしていく工夫をしてみてください。

有害鳥獣捕獲頭数



単位：頭	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
イノシシ	525	563	1001	286	309
ニホンジカ	53	65	98	120	152
アライグマ	238	197	204	219	161
ハクビシン	180	141	123	170	147
ニホンザル	10	28	29	11	12

野生動物の近年の動向

令和2年度以降イノシシの捕獲頭数が減っています。これは令和元年度の捕獲実績およびCSF(豚熱)により生息数減少が原因と推測されます。今年度に入り、道路際や耕作放棄地などでイノシシの跡が見られるようになりました。

シカは年々捕獲頭数が増えており、生息数についても増加していると考えられます。

サルは主に松井田町地域で生息するいくつかの群れを確認しています。

今年度に入ってからクマの目撃情報が多く寄せられています。市街地でも目撃されていますので、注意してください。

